



O ) - O - C H<sub>2</sub> C H<sub>2</sub> - N ( H ) - C ( O ) - O - C H ( C H<sub>2</sub> O P h ) - C H<sub>2</sub> - 、  
H<sub>2</sub> C = C ( C H<sub>3</sub> ) C ( O ) - O - C H<sub>2</sub> - C H ( O - ( O ) C - N ( H ) - C H<sub>2</sub> C  
H<sub>2</sub> - O - ( O ) C ( C H<sub>3</sub> ) C = C H<sub>2</sub> ) - C H<sub>2</sub> - 、 H<sub>2</sub> C = C ( H ) C ( O ) - O  
- ( C H<sub>2</sub> )<sub>4</sub> - O - C H<sub>2</sub> - C H ( O H ) - C H<sub>2</sub> - 、 H<sub>2</sub> C = C ( C H<sub>3</sub> ) C ( O )  
- O - C H<sub>2</sub> - C H ( O - ( O ) C - N ( H ) - C H<sub>2</sub> C H<sub>2</sub> - O - ( O ) C ( C H<sub>3</sub> )  
C = C H<sub>2</sub> ) - C H<sub>2</sub> - 、 C H<sub>3</sub> - ( C H<sub>2</sub> )<sub>7</sub> - C H ( O - ( O ) C - N ( H ) - C H  
<sub>2</sub> C H<sub>2</sub> - O - ( O ) C ( C H<sub>3</sub> ) C = C H<sub>2</sub> ) - C H<sub>2</sub> - 、 H<sub>2</sub> C = C ( H ) C ( O )  
- O - ( C H<sub>2</sub> )<sub>4</sub> - O - C H<sub>2</sub> - C H ( - O - ( O ) C ( H ) = C H<sub>2</sub> ) - C H<sub>2</sub> - 及  
び H<sub>2</sub> C = C ( H ) C ( O ) - O - C H<sub>2</sub> - C H ( O H ) - C H<sub>2</sub> - 、 H<sub>2</sub> C = C ( H )  
C ( O ) - O - ( C H<sub>2</sub> )<sub>4</sub> - O - C H<sub>2</sub> - C H ( - O - ( O ) C ( H ) = C H<sub>2</sub> ) - C  
H<sub>2</sub> - 、 並びに C H<sub>3</sub> - ( C H<sub>2</sub> )<sub>7</sub> - C H ( O - ( O ) C - N ( H ) - C H<sub>2</sub> C H<sub>2</sub> -  
O - ( O ) C ( C H<sub>3</sub> ) C = C H<sub>2</sub> ) - C H<sub>2</sub> - から選択される、請求項 1 に記載の付加開裂剤。

#### 【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の付加開裂剤と、少なくとも 1 種のフリーラジカル重合性モノマーと、反応開始剤と、を含む、重合性組成物。

#### 【請求項 4】

100 重量部の全モノマー a ) ~ d ) に対して、

- a ) 85 ~ 100 重量部の(メタ)アクリル酸エステルと、
- b ) 0 ~ 15 重量部の酸官能性エチレン性不飽和モノマーと、
- c ) 0 ~ 10 重量部の非酸官能性エチレン性不飽和極性モノマーと、
- d ) 0 ~ 5 部のビニルモノマーと、
- e ) 0 ~ 100 部の多官能性(メタ)アクリレートと、
- f ) 100 重量部の a ) ~ e ) に対して、0.1 ~ 20 重量部の前記付加開裂剤と、
- g ) 反応開始剤と、を含む、請求項 3 に記載の重合性組成物。

#### 【請求項 5】

0.01 ~ 100 部の多官能性(メタ)アクリレートを更に含む、請求項 4 に記載の重合性組成物。

#### 【請求項 6】

強剤化剤を更に含む、請求項 3 ~ 5 のいずれか一項に記載の重合性組成物。

#### 【請求項 7】

基材上に、硬化した請求項 3 ~ 5 のいずれか一項に記載の重合性組成物を含む物品。

#### 【請求項 8】

- a ) 0.1 ~ 10 重量 % の請求項 1 又は 2 に記載の付加開裂剤と、
- b ) 20 ~ 80 重量 % の多官能性(メタ)アクリレートモノマー及び / 又は多官能性(メタ)アクリレートオリゴマーと、
- c ) 0 ~ 25 重量 % の範囲の(メタ)アクリレート希釈剤と、
- d ) 20 ~ 75 重量 % のシリカと、を含む、ハードコート組成物。

#### 【請求項 9】

- a ) 少なくとも 2 つのエチレン性不飽和基を含む少なくとも 1 種の歯科用樹脂と、
- b ) 請求項 1 又は 2 に記載の付加開裂剤と、
- c ) 任意に無機酸化物充填剤と、を含む、硬化性歯科用組成物。

#### 【請求項 10】

前記歯科用樹脂は、低体積収縮樹脂である、請求項 9 に記載の歯科用組成物。

#### 【請求項 11】

前記歯科用組成物は、エトキシ化ビスフェノール A ジメタクリレート、2 - ヒドロキシエチルメタクリレート、ビスフェノール A ジグリシジルジメタクリレート、ウレタンジメタクリレート、トリエチレングリコールジメタクリレート、グリセロールジメタクリレート、エチレングリコールジメタクリレート、ネオペンチルグリコールジメタクリレート( NPGDMA )、ポリエチレングリコールジメタクリレート、及びこれらの混合物から選

択される少なくとも 1 種のその他の(メタ)アクリレートモノマーを更に含む、請求項9  
又は 10に記載の歯科用組成物。